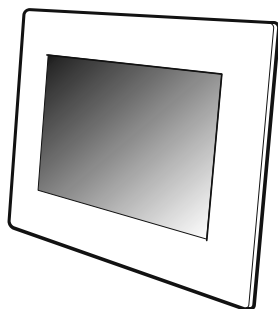
ONKYO

LPF10M01

取扱説明書

このたびは、弊社製デジタルフォトフレーム（以下、「本製品」と記載します）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では、本製品のご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使いかた、および、より有効に活用する方法を説明しています。
本機を正しくお使いいただくためにも、必ず本書をお読みください。
読み終わったあとは、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管してください。

ご使用の前に「安全上のご注意」
(☞1ページ)を必ずお読みください。

本書の読みかた

マークについて

本書では次のマークが使われています。

マーク	説明
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
メモ	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
チェック	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
参照ページ	その単語の詳細を別ページにて紹介、または説明しています。本文とあわせて参照してください。

※1重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3物的損害とは、本機の損害、および家屋･家財･ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

・本書中の画面およびイラストは、モデルまたはご使用の環境により実物と異なる場合があります。
・本書中のホームページの内容およびアドレス、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

安全上のご注意

本書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⃠ 記号は禁止の行為を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」という意味です。

● 記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜いてください」という意味です。

⚠ 警告

分解禁止

●絶対に分解したり修理・改造をしないでください。火災・感電の原因となります。また、無償修理の対象外となります。修理はカスタマーサポートセンターにご相談ください。

●金属や液体などの異物を内部に入れないでください。火災・感電の原因となります。

●雷が鳴ったときは、ACアダプターにさわらないでください。感電の原因となります。

●火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で使用、保管、放置をしないでください。火災・感電の原因となります。

●本体から、何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは直ちにACアダプターを抜いてください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

●ACアダプターの上に重いものをのせないでください。また、故意に傷つけたり、加工したり、無理に折り曲げたりしないでください。傷ついて破損し、火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

●洗い場、風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●ACアダプターのピンにホコリが付着したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●付属のACアダプター以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源が100Vであることを確認してご使用ください。100Vを超える電源を使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

●熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐蝕性ガスのある環境、ほこりの多いところ、動作環境温度/湿度を超える範囲では使用・保存しないでください。

●落としたり強い衝撃を与えないでください。また、重い物をのせないでください。故障による火災・感電の原因となります。

●ディスプレイを持ってぶらさげた状態で持ち運ばないでください。ディスプレイに強い力が加わり、破損する恐れがあります。

●旅行など長時間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜いてください。漏電·火災の原因となります。

●ぐらついた台の上や、振動の大きい場所に設置しないでください。転倒や落下により、火災・けがの原因となります。

●ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

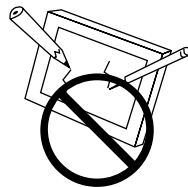
●製品の上にのったり、重い物をのせないでください。転倒や落下により、火災・けがの原因となります。

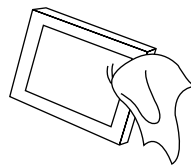
●ACアダプターを抜くときはケーブルを持たず、必ず本体部分を持って抜いてください。

●アース線の取り付け・取り外しをする前は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

使用上のご注意・お手入れについて

液晶ディスプレイについて

●カラー液晶ディスプレイは消耗品です。寿命が近くなると、画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなります。
●カラー液晶ディスプレイの有効ドット数の割合は99.99%以上です。
※ 有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイに表示できる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。
●カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが、故障ではありません。
●使用周囲温度が低いとき、また本製品が冷え切っているときは、電源をオンにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。このような場合には、一度本体の電源をオフにし、しばらく常温の環境に放置したあと、お使いください。
●液晶ディスプレイの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を切り替えたときに残像が発生することがあります。このような場合には、画面の表示パターンを替えたり、数時間電源を切っておくなどすると、残像は徐々に改善されます。
●ペン先やコンパスなど、先の尖ったもので突いたり、ひっかいたりしないでください。

お手入れについて

●本製品のお手入れには、シンナーやベンジン、塩素系洗剤を絶対に使用しないでください。ケースが変質したり、塗装がはげる原因となります。
●液晶ディスプレイの汚れは、清潔でやわらかく乾いた布を使い、からぶきしてください。
●液晶ディスプレイを除くケースなどのキャビネット部分は、清潔でやわらかく乾いた布でからぶきしてください。特に汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

快適にお使いいただくために

●日光などの外光や、蛍光灯などの照明が画面に映り込むと、反射のために画面が見えにくくなります。画面の角度を変えるなど、直接、光が映り込まないようにしてください。
●画面の位置を、目の高さより低めになるよう位置を調節すると、見やすくなります。
●長時間作業するときは、目の健康のため適度の休憩をとるようにしてください。
●部屋が暗いと目が疲れる原因となります。部屋を適度な明るさにして、ご使用ください。
●ほこりがたまると故障の原因となります。適度にお手入れをしてください。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に搭載されるソフトウェアには、オンキヨー株式会社（以下「弊社」とします）が第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれております。これらのソフトウェアに関する本お知らせを必ずご一読くださいますようお願い申しあげます。

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNULesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLに従いこれらのソフトウェアソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux kernel 2.6	cramfs	Nano-x
busybox	mkfatfs	

これらのソースコードのご提供に関しましては、以下のWEBサイトをご覧下さい。
http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/info/lpf10m01/gnu.html
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

本契約は、本製品をご購入されたお客様（以下「お客様」とします）とオンキヨー株式会社（以下「弊社」とします）との間での、本製品に搭載されている又は本製品に搭載する目的で弊社より提供するソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）の使用権の許諾に関する条件を定めるものです。なお、許諾ソフトウェアには弊社が第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれており、一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件等を定めております。かかるソフトウェアについては本契約が適用されませんので、別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご確認下さい。

第1条（総則）
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権はお客様に移転いたしません。

第2条（使用権）
1. 弊社は、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、お客様が許諾ソフトウェアを本製品に搭載されている状態で又は提供された許諾ソフトウェアを本製品1台に1部インストールして、本製品上においてのみ使用する権利をいいます。
3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写したり、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。

第3条（権利の制限）
1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. 各許諾ソフトウェアはそれぞれ1つの製品として、本製品における使用を条件に許諾されています。お客様は許諾ソフトウェアの全部若しくは一部又はその構成部分を複数のコンピュータでの使用のために分離してはならないものとします。
3. お客様は、許諾ソフトウェアを用いて、弊社又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。
4. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5. お客様は、本契約に基づいて、本製品と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、媒体、マニュアルなどの関連書類、電子文書、リカバリディスク及び本契約書を含みます）を譲渡し、かつ譲受人が本契約の条項に同意することを条件とします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、弊社又は弊社が本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利を弊社に認めた原権利者（以下「原権利者」とします）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約第2条に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（責任の範囲）
1. 弊社は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、又は許諾ソフトウェアが中断なく稼動することを保証しません。但し、弊社は弊社の裁量により、当該エラー、バグ等の不具合の修補若しくはバージョンアップを行うため、許諾ソフトウェアの全部又は一部を書き換える新たな許諾ソフトウェアのWeb、郵送等による配布、若しくは許諾ソフトウェア中の第三者製ソフトウェアについての問い合わせ先の通知を行うことがあります。なお、かかる配布により修補若しくはバージョンアップが行われたソフトウェアについても、特段の定めがない限り本契約の規定が適用されるものとします。
2. 弊社は、許諾ソフトウェアに関連して弊社及び原権利者が第三者の知的財産権を侵害していないことを保証するものではありません。
3. 弊社は、お客様が本契約に基づき許諾された使用権を行使することによりお客様又は第三者に生じた損害に関していかなる責任も負わないものとします。
4. 弊社は、許諾ソフトウェアに関連して弊社又は第三者が提供するサービスの開始又は継続を保証しません。
5. お客様に対する弊社の損害賠償責任は、いかなる場合にもお客様が証明する本製品の購入代金を上限とします。

第6条（契約の解約）
1. お客様が本契約の規定に違反した場合、弊社は直ちに本契約を解約することができるものとします。この場合お客様が許諾ソフトウェアを使用する権利は消滅いたしますので、お客様は直ちに許諾ソフトウェアの使用を中止するものとします。
2. 前項の規定により本契約が解約され、弊社から要請があった場合、お客様は弊社が本製品から許諾ソフトウェアを削除するために本製品を弊社が指定する場所に送付するものとし、弊社は削除後すみやかに本製品をお客様に返還するものとします。

第7条（その他）
1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用ある国内外の輸出管理規制、法律、命令に従うものとします。
3. 本契約は、消費者契約法を含む消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。
4. 本契約の一部条項が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及び弊社は誠意をもって協議し、解決するものとします。

以上

法規について

PCリサイクルについて

このマークが表示されている対象製品は、当社が無償で回収および再資源化します。詳細は当社Webサイト（http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index.html）を参照してください。

版権について

本書のすべての内容は著作権によって保護されています。本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

本書において説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。それ以外の場合は当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

記載内容について

本書に含まれる情報は、事前にお知らせすることなしに変更される場合があります。本製品ならびにソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
本製品およびソフトウェアの仕様は予告なしに変更することがあります。

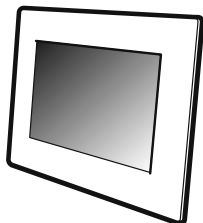
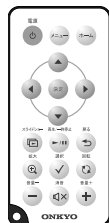
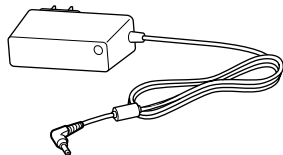
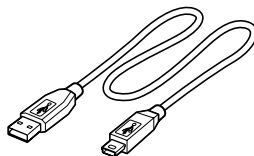
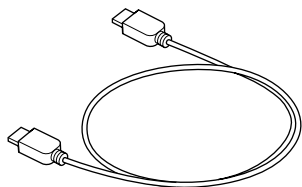
輸出および海外でのご使用に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。
必要な許可を取得せずに本製品を輸出すると、同法により罰せられます。
輸出の許可の要否については、ご購入頂いた販売店、または当社営業拠点にお問い合わせください。

VCCIの基準に基づくクラスB情報処理装置です

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

付属品を確認する

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。
まず、箱を開けて、次のものが入っているか確認してください。
万一、付属品の不足や不良がありましたら、カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

● 引越しや修理等のときのために、梱包箱（緩衝材を含む）は、保管しておいてください。

各部の名称と働き

本体とリモコンの名称と働きを説明します。

本体正面

本体右側面

本体左側面

リモコンホルダー
DC5V入力端子
電源スイッチ

リモコン

[電源]ボタン
電源の待機/オンを切り換えます。
[決定]ボタン
メニュー操作中は選択の確定をします。再生を開始します。
[再生 / 一時停止]ボタン
再生中の再生/一時停止を切り換えます。
[スライドショー]ボタン
スライドショーを実行します。
[拡大]ボタン
表示中の画像を拡大させます。
[音量ー]ボタン
音量調整(音量小)をします。
[ホーム]ボタン
メインメニューに戻ります。
[メニュー]ボタン
ソースメニューを表示します。
サムネイル表示の時は写真選択メニューを表示します。
[▲ ▼ ◀ ▶]ボタン
項目を選びます。
[選択]ボタン
サムネイル表示中、お好みの画像を選択します。
[戻る]ボタン
前の表示に戻ります。
[回転]ボタン
表示中の画像を回転させます。
[音量+]ボタン
音量調整(音量大)をします。
[消音]ボタン
消音します。
電源
メニュー
ホーム
決定
スライドショー
再生/一時停止
戻る
拡大
選択
回転
音量ー
消音
音量+
ONKYO

リモコンの準備をする

本書は、リモコンの操作を前提に説明しています。特に必要がある場合を除いて、リモコンからの操作方法のみ説明しています。

絶縁シートを外す

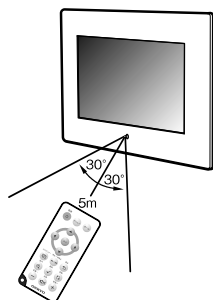
リチウム電池はあらかじめリモコンの中に入っています。
放電を避けるために絶縁シートが入っていますので、ご使用前に引き抜いてください。

リモコンの電池を交換する

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR-2025）に交換してください。

1. 電池ホルダーのタブを内側に押さえながら電池ホルダーを引き出します。
2. 古い電池を電池ホルダーから取り出し、新しい電池を＋側を上にして入れます。
3. 電池ホルダーをリモコンに差し込みます。

リモコンを操作する

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。受光部から5m以内、正面から左右それぞれ30度以内で、間に障害物のない状態で使用してください。

メモ

・リモコンを使用しないときは、本体背面のリモコンホルダーに収納してください。

注意

・リモコンの電池は正しくお使いください。間違った使い方をしますと火災や爆発などや、人体へのけがの原因となることがあります。電池の液もれは、リモコンの破損の原因となることがあります。
・リモコンは直射日光の当たる場所に置かないでください。
・電池は充電、分解、加熱しないでください。
・電池を火や水の中に入れないでください。
・消耗した電池はすぐに交換してください。
・長時間使わないときは、電池を取り出してください。

スタンドをセットする

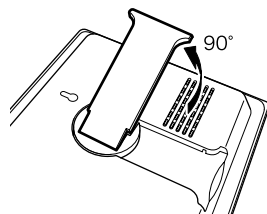
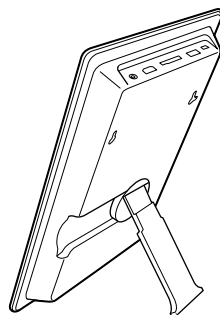
本体裏面のスタンドを開いて、本製品を設置してください。

スタンドを開く

1 スタンドを引き出し、開きます。

2 スタンドの角度と長さを調節して、本体を見やすい角度に設置します。

スタンドを縦置きに設置する

1 スタンドを引き出し、90 度回転させて開きます。

2 スタンドの角度と長さを調節して、本体を見やすい角度に設置します。

メモ

・本製品は縦置き、横置きを自動で判別し、写真表示します。
縦置き設置でお使いの場合、サムネイル、メニュー操作は本製品を横にして操作してください。

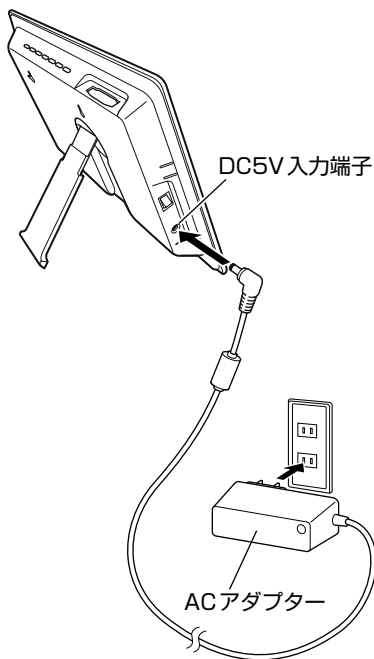
使用する前にスタンドが安定しているかどうか確認してください。中途半端な状態で立てると、倒れる場合があります。

AC アダプターを接続する

本製品の電源は付属のACアダプターを使って供給されます。

ACアダプターを接続する

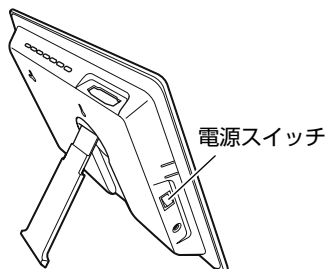
1. AC アダプターのプラグを本体の DC5V 入力端子に差し込みます。

2. AC アダプターを電源コンセントに接続します。

- 本製品に付属のACアダプター以外は、絶対に使用しないでください。火災・感電の恐れがあります。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

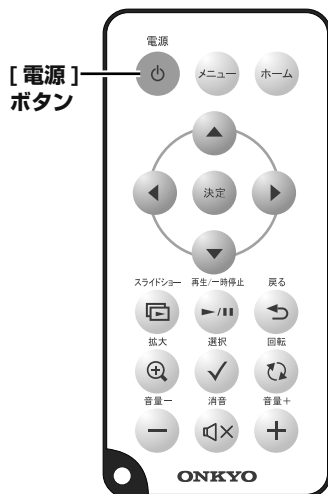
電源を入れる

接続を確認してから電源をいれます。

電源を入れる

1 **本体左側面の電源スイッチを ON にします。**
液晶画面に「ONKYO」(ロゴ) が表示され、スライドショーが始まります。

待機状態にする

リモコンで電源の待機/オンの切り換えができます。

1 **電源が入っている状態で、[電源] ボタンを押します。**
画面が待機状態になります。待機状態で **[電源]** ボタンを押すと、液晶画面に「ONKYO」(ロゴ) が表示され、スライドショーが始まります。

・ 再生するメディアに保存している画像のみの再生となります。

再生するときの優先順位は以下のようになります。

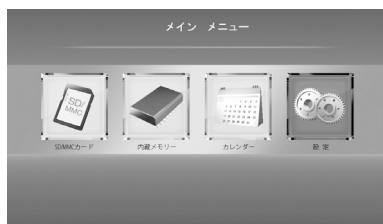
- ・**電源投入時**
  メモリーカード＞USBメモリー＞内臓メモリー
- ・**メディア挿入時**
  最後に挿入したメディア
- ・**メディア再生後**
  最後に再生したメディア

時計を設定する

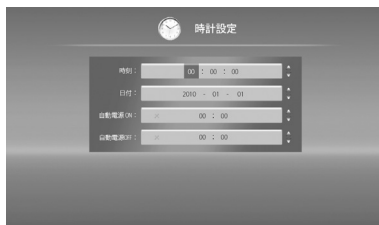
日付時刻などを設定することで、アラームやカレンダーが正しく動作します。

時計を設定する

1 [ホーム] ボタンを押します。
メインメニューが表示されます。

2 [◀][▶] ボタンを押して「設定」を選択して、[決定] ボタンを押します。
設定メニューが表示されます。

3 [◀][▶] ボタンを押して「時計設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

時計設定画面が表示されます。

4 時刻を合わせます。
① [▲][▼] ボタンを押して「時」を合わせ、[▶] ボタンを押して「分」に進みます。
② [▲][▼] ボタンを押して「分」を合わせ、[▶] ボタンを押して「秒」に進みます。
③ [▲][▼] ボタンを押して「秒」を合わせ、[▶] ボタンを押して「日付」の項目に進みます。

5 日付を合わせます。
① [▲][▼] ボタンを押して「年」を合わせ、[▶] ボタンを押して「月」に進みます。
② [▲][▼] ボタンを押して「月」を合わせ、[▶] ボタンを押して「日」に進みます。
③ [▲][▼] ボタンを押して「日」を合わせ、[▶] ボタンを押して「自動電源ON」の項目に進みます。

6 自動電源 ON を設定します。
設定しない場合は、[◀][▶] ボタンを押して、手順 7「自動電源 OFF」に進みます。
① [◀][▶] ボタンを押して「時」に進みます。
② [▲][▼] ボタンを押して「時」を設定して、[▶] ボタンを押して「分」に進みます。
③ [▲][▼] ボタンを押して「分」を設定して、[▶] ボタンを押して「自動電源 OFF」に進みます。

7 自動電源 OFF を設定します。
設定しない場合は、[**決定**] ボタンを押して設定メニューに戻ります。
① [◀][▶] ボタンを押して「時」に進みます。
② [▲][▼] ボタンを押して「時」を設定して、[▶] ボタンを押して「分」に進みます。
③ [▲][▼] ボタンを押して「分」を設定し、[**決定**] ボタンを押して設定メニューに戻ります。

メモ

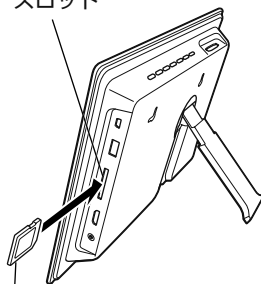
・ **[戻る]**ボタンを押すと、設定を変更せずに設定メニューに戻ります。

メモリーカード /USB メモリーを入れる

本製品はさまざまなメモリーカードやUSBメモリーに対応しています。

メモリーカードを入れる

1 メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込みます。

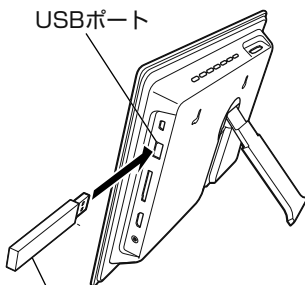
本体背面から見てメモリーカードのシール面を手前にして、メモリーカードスロットの奥まで確実に差し込みます。

・メモリーカードを斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

メモ

・使用するメモリーカードについては、「メモリーカードについて」（☞31ページ）を参照してください。

USBメモリーを入れる

1 USB メモリーを USB ポートに差し込みます。

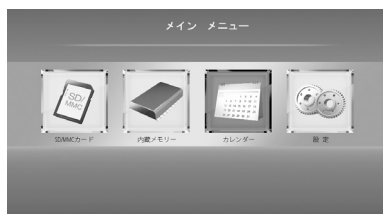
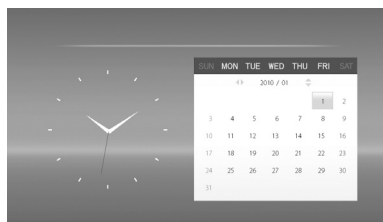
USB ポートの奥まで確実に差し込みます。

・USBメモリーを斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
・USBメモリーはミニUSBポートに差し込まないでください。

カレンダーを見る

カレンダーと時計を表示します。

カレンダーを見る

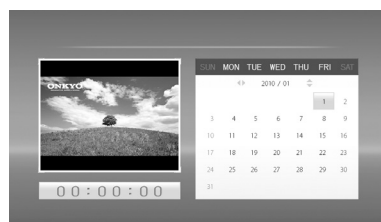
[ホーム] ボタンを押します。
メインメニューが表示されます。

[◀][▶] ボタンを押して「カレンダー」を選択し、[決定] ボタンを押します。

カレンダー画面が表示されます。

チェック

- カレンダーを表示する前に、必ず日付と時刻を設定してください。詳しくは「時計を設定する」(☞13ページ)を参照してください。
- カレンダー画面は縦置きでは使用できません。

カレンダーの表示を変える

カレンダー画面の表示中、時計の表示モードを変えることができます。

「アナログ時計」モードを「デジタル時計＋画像」モードに変える。
① [決定] ボタンを押します。
「デジタル時計＋画像」モードの表示に変わります。

②もういちど [決定] ボタンを押します。
「アナログ時計」モードに戻ります。[決定] ボタンを押すごとに交互に時計の表示モードが切り替わります。

メモ

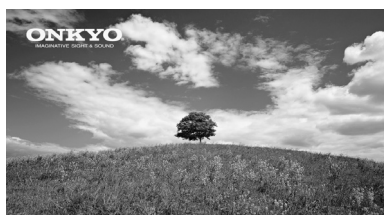
- 画像はスライドショーが再生されます。

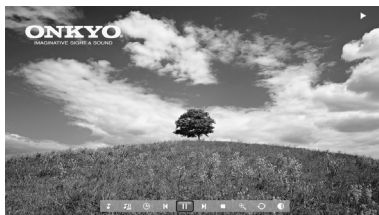
2 カレンダーの年月を変える。
① [◀][▶] ボタンを押して「年」の表示を変えます
② [▲][▼] ボタンを押して「月」の表示を変えます。

スライドショーを見る

自動的に画像を切り替えて表示します。

スライドショーをはじめる

1 電源を入れた後、自動的にスライドショーが始まります。

再生中に **[決定]** ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
何も操作をしないと、サブメニューはしばらくすると消えます。

メモ

- スライドショーの切り替え間隔/エフェクト/画面表示をお好みの設定に変えることができます。(☞24ページ)
- サブメニューについては、「サブメニューについて(静止画像再生中)」(☞19ページ)を参照してください。

チェック

- 再生するメディアに保存している画像のみの再生となります。

  再生するときの優先順位は以下のようになります。
  - **電源投入時**
    メモリーカード＞USBメモリー＞内臓メモリー
  - **メディア挿入時**
    最後に挿入したメディア
  - **メディア再生後**
    最後に再生したメディア

メニュー操作について

メインメニューとメディアメニューを使って、いろいろな機能を使うことができます。

メインメニューを操作する

1 接続を確認して電源を入れます。

2 [ホーム] ボタンを押します。
メインメニューが表示されます。

メモリーカードや USB メモリーが入っている場合は、そのアイコンが表示されます。

メモリーカードを入れた場合

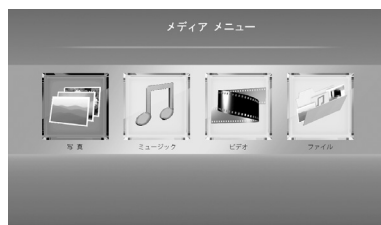
USB メモリーを入れた場合

3 [◀][▶] ボタンを押して項目を選択します。

メモ

・[戻る]ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

メディアメニューを操作する

1 メインメニューで、内蔵メモリー / メモリーカード /USB メモリーからひとつのメディアを選択して、[決定] ボタンを押します。
メディアメニューが表示されます。

2 [◀][▶] ボタンを押して項目を選択します。

メモ

・[戻る]ボタンを押すと、前の表示に戻ります。

静止画を再生する

静止画を一覧表示やスライドショーで再生することができます。

静止画を一覧表示する

1 メディアメニューで「写真」を選択するか、スライドショー再生中に、[戻る] ボタンを押します。

静止画が一覧 (5 x 3 行) で表示されます。

2 [▲][▼] と [◀][▶] ボタンを押してお好みの画像を選択します。

メモ

・ 静止画の一覧表示画面の下に、画面番号/ファイル名/日付時刻が表示されます。

静止画をスライドショーで見る

1 静止画の一覧表示中に、[決定] ボタンを押します。

選択されていた画像からスライドショーがはじまります。
[拡大] ボタンを押すと、再生中の画像が拡大します。
[回転] ボタンを押す毎に、再生中の画像が 90 度回転します。

スライドショー再生中に、**[決定]** ボタンを押すとサブメニューが表示されます。
スライドショーを再生しながら、いろいろな機能を操作することができます。
(☞ 19 ページ)

メモ

・ スライドショーの切り替え間隔/エフェクト/画面表示をお好みの設定に変えることができます。
(☞24ページ)

サブメニューについて(静止画再生中)

スライドショー再生中に、[決定]ボタンを押すとサブメニューが表示され、下記の操作ができます。

[◀][▶] ボタンを押してアイコンを選択し、[決定] ボタンを押します。

: 音楽再生に切り換える

: 曲一覧を表示する

: 画面左上に時刻を表示する

: 前の画像に戻る

: 一時停止/再生再開する

: 次の画像に進む

: 停止する

: 画像を拡大する

: 画像を回転する

: LCD設定をする
明るさ/コントラスト/色合いを調整します。

静止画をコピー /削除する

静止画の一覧表示中に、選択した画像のコピー/削除ができます。

1. **[▲][▼] と [◀][▶] ボタンを押してコピーや削除したい画像を選択し、[選択] ボタンを押します。**
選択された画像の左上に「✓」マークが付きます。

2. **[メニュー] ボタンを押します。**
「選択」のポップアップ画面が表示されます。

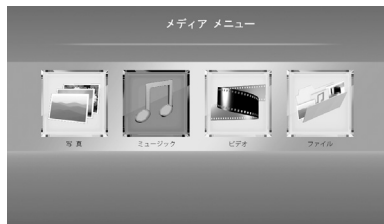
3. **[▲][▼] ボタンを押して「コピー」か「削除」を選択し、[決定] ボタンを押します。**
「コピー」を選択すると、「保存」画面が表示されます。
「キャンセル」を選択すると、メニューが解除されます。

4. **コピーの場合は、「保存先」を選択して [決定] ボタンを押します。**

音楽を再生する

本製品は保存されている音楽ファイルを再生できます。

音楽を再生する

1 メディアメニューで、[◀][▶] ボタンを押して「ミュージック」を選択し、[決定] ボタンを押します。

2 [▲][▼] ボタンを押してお好みの音楽ファイルを選択し、[決定] ボタンを押します。

3 [音量ー][音量 +] ボタンを押して音量の調整をします。

メ モ

- 対応しているファイルはMP3形式、WMA形式です。
- ヘッドホンで音楽を聞きたい場合は、本体右側面のヘッドホン端子に接続してください。
- 「タイトル」、「アーティスト」、「アルバム」の文字コードは「Unicode」対応しています。

サブメニューについて

音楽再生中に**[決定]**ボタンを押すと、サブメニューが表示され下記の操作ができます。

[◀][▶] ボタンを押してアイコンを選択して、[決定] ボタンを押します。

⏮ : 前の曲に戻る

⏭ : 次の曲に進む

⏸ : 一時停止/再生再開する

⏹ : 停止する

→ : ノーマル（ボタンを繰り返し押すと、以下のように切り換わります。）
↓
: 同じ曲を繰り返す
↓
: すべての曲を繰り返す
↓
: ランダム

動画を再生する

本製品は保存されている動画ファイルを再生できます。

動画を再生する

1 メディアメニューで、[◀][▶] ボタンを押して「ビデオ」を選択し、[決定] ボタンを押します。

2 [▲][▼] ボタンを押してお好みの動画ファイルを選択し、[決定] ボタンを押します。

メモ

- 対応しているファイルはAVI形式、MP4形式です。

サブメニューについて(動画再生中)

動画再生中に、**[決定]**ボタンを押すとサブメニューが表示され、下記の操作ができます。

[◀][▶] ボタンを押してアイコンを選択し、[決定] ボタンを押します。

: 前の動画ファイルに戻る

: 早戻し

: 再生する（ボタンを押す毎に、一時停止と再生を繰り返す。）

↓

: 一時停止

: 早送り

: 次の動画ファイルに進む

: 停止する

: ノーマル（ボタンを繰り返し押すと、以下のように切り換わります。）

↓

: 同じ動画ファイルを繰り返す

↓

: すべて動画ファイルを繰り返す

↓

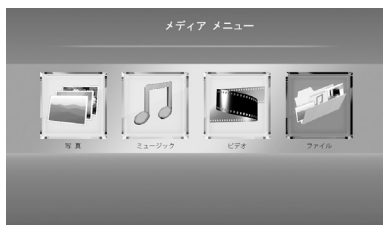
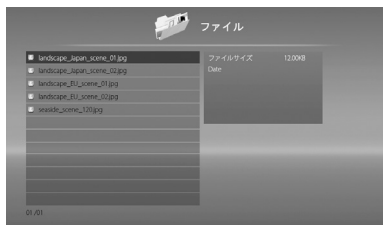
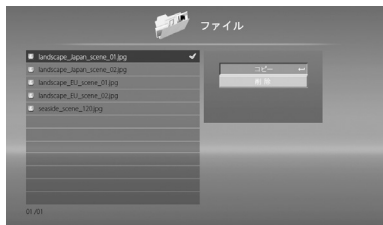
: ランダム

: LCD設定をする
明るさ/コントラスト/色合いを調整します。

ファイルをコピー / 削除する

本製品は保存されているファイルをコピー /削除することができます。

ファイルをコピー /削除する

1 **メディアメニューで、[◀][▶] ボタンを押して「ファイル」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

2 **[▲][▼] ボタンを押してお好みのファイルを選択し、[決定] ボタンを押します。**
カーソル右画面にファイルの詳細情報が表示されます。

3 **[選択] ボタンを押して「✓」マークを付け [決定] ボタンを押します。**
「コピー / 削除」のポップアップ画面が表示されます。

4 **[▲][▼] ボタンを押して「コピー」か「削除」を選択し、[決定] ボタンを押します。**
「コピー」を選択すると、「コピー先」画面が表示されます。

5 **コピーの場合は、「コピー先」を選択して [決定] ボタンを押します。**

チェック

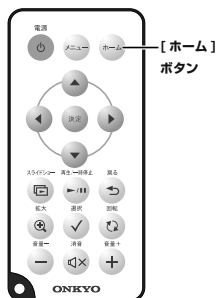
動作しないときは下記についてご確認ください。
- メモリーが書き込み防止状態でないこと。
- 空き容量が十分にあること。

設定メニューについて

本製品の設定は設定メニューでおこないます。

設定メニューの操作

1 **[ホーム] ボタンを押します。**

2 **[◀][▶] ボタンを押して「設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。**
設定メニューが表示されます。

設定メニュー (初期値一覧)

設定内容		初期値
スライドショー	切り替え間隔の設定	10秒
	エフェクトの設定	ランダム
	画面表示の設定	標準
アラーム	アラームON/OFFの設定	OFF
	アラーム設定	OFF
	アラーム音	1
	時刻の設定	0:00
	繰り返しの設定	なし
言語設定	英語/日本語の選択	日本語
時計設定	時刻の設定	00:00
	日付の設定	2010-01-01
	自動電源ONの設定	X
	自動電源OFFの設定	X
画面保護	スクリーンセーバー表示の設定	スライドショー
	待ち時間の設定	1分
本体情報	モデル名/バージョンの表示	
初期化	Yes/Noの選択	No

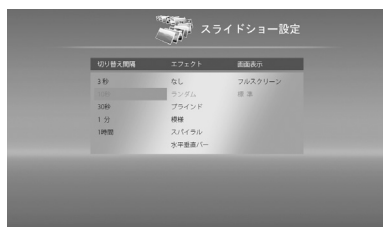
いろいろな設定をする

設定メニューから、いろいろな設定の操作ができます。

スライドショーの設定をする

スライドショーの切り替え間隔、エフェクト、画像表示の大きさの設定ができます。

1 **[◀][▶] ボタンを押して「スライドショー」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

2 **[◀][▶] ボタンを押して、項目を選択し、[決定] ボタンを押します。**

3 **[▲][▼] ボタンを押して、設定内容を選択し、[決定] ボタンを押します。**
設定内容が赤く表示されます。

設定項目

切り替え間隔：3秒/10秒/30秒/1分/1時間
エフェクト：なし/ランダム/ブラインド/模様/スパイラル/水平垂直バー
画面表示：フルスクリーン/標準

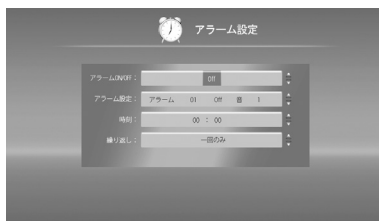
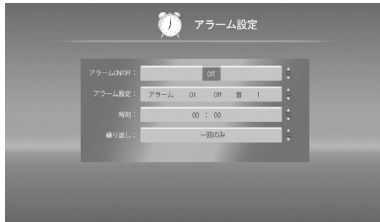
メモ

・ **[戻る]**ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

アラームの設定をする

アラームのON/OFF、アラーム内容、時刻、繰り返しの設定ができます。

1 **[◀][▶] ボタンを押して「アラーム」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

2 **[◀][▶] ボタンを押して、項目を選択し、[決定] ボタンを押します。**

3 **[▲][▼] ボタンを押して、設定内容を選択し、[決定] ボタンを押します。**
設定内容が赤く表示されます。

設定項目
アラームON/OFF：On/Off
アラーム設定：アラーム01/02
アラームOn/Off
音1/2/3
時刻：00:00 ～ 23:59
繰り返し：なし/毎日/曜日指定

メモ

・[戻る]ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

言語の設定をする

表示する言語が設定できます。

1 **[◀][▶] ボタンを押して「言語」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

2 **[▲][▼] ボタンを押して、言語を選択し、[決定] ボタンを押します。**
設定内容が赤く表示されます。

設定項目
英語/日本語

メモ

・言語設定を「英語」に設定すると、画面が英語表示になります。

・[戻る]ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

時計の設定をする

時刻、日付、自動電源ON/OFFの設定ができます。

1 [◀][▶] ボタンを押して「時計設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

2 [◀][▶] ボタンを押して、項目を選択し、[決定] ボタンを押します。

3 [▲][▼] ボタンを押して、設定内容を選択し、[決定] ボタンを押します。
設定内容が赤く表示されます。

設定項目
時刻：00:00:00 ～ 23:59:59
日付：2010-01-01 ～
自動電源ON：X/00:00 ～ 23:59
自動電源OFF：X/00:00 ～ 23:59

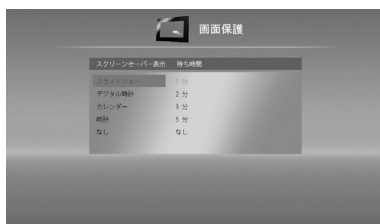
メ モ

・ **[戻る]**ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

画面保護の設定をする

画面表示に関する設定を行います。

1 [◀][▶] ボタンを押して「画面保護」を選択し、[決定] ボタンを押します。

2 [▲][▼] ボタンを押して、項目を選択し、[決定] ボタンを押します。
設定内容が赤く表示されます。

設定項目
スクリーンセーバー表示：スライドショー / デジタル時計/カレンダー /なし
待ち時間： 1 分/2分/3分/5分/なし

メ モ

・ **[戻る]**ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

本体情報を確認する

本製品のモデル名、バージョンの確認ができます。

1 **[◀][▶] ボタンを押して「本体情報」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

本体情報が表示されます。

メモ

- **[戻る]**ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

初期化する

変更した設定の値がすべて工場出荷時の状態に戻ります。

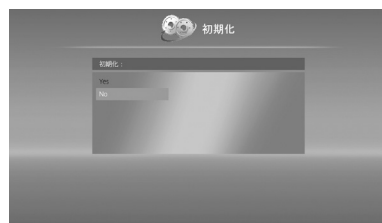
1 **[◀][▶] ボタンを押して「初期化」を選択し、[決定] ボタンを押します。**

2 **[▲][▼] ボタンを押して、「Yes」を選択し、[決定] ボタンを押します。**
初期化が実行されます。

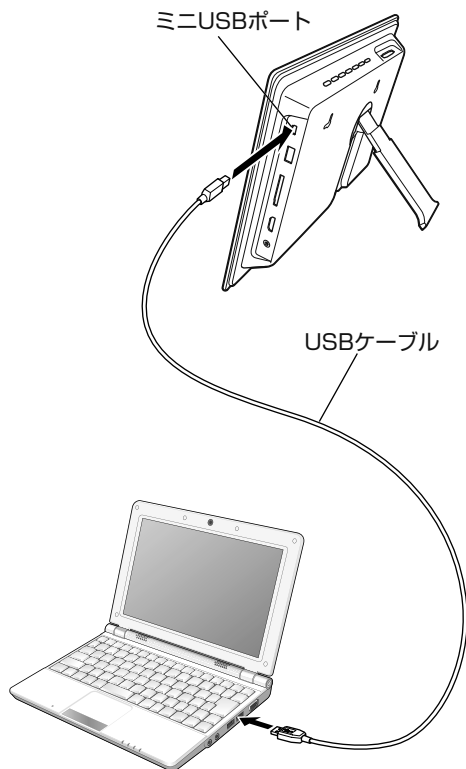
メモ

- **[戻る]**ボタンを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

設定する

パソコンと接続する

付属のUSBケーブルを接続して、本製品の内蔵メモリーにある画像や音楽をPCで再生します。

パソコンと接続する

1. **本体のミニ USB ポートとパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。**

必要なパソコンのシステム構成

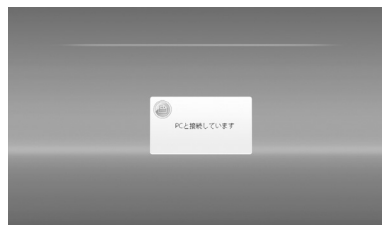
Windows

OS: Windows 7/Windows Vista SP1/Windows XP SP3
ポート: USBポート

Macintosh

OS: Mac OS X(10.4以降)
ポート: USBポート

パソコンで画像を再生する

1. **本製品の電源を入れます。**
「PC と接続しています」と表示されます。

メモ

・本製品をパソコンに接続すると、リモコンからの操作はできなくなります。

2. **パソコンの画面に「自動再生」画面が表示されたら、[フォルダーを開いてファイルを表示] をクリックします。**

3. **「自動再生」画面が表示されない場合は、「マイコンピュータ」からリムーバルディスクを選んで開いてください。**
内蔵メモリーの画像がパソコンの画面に再生されます。

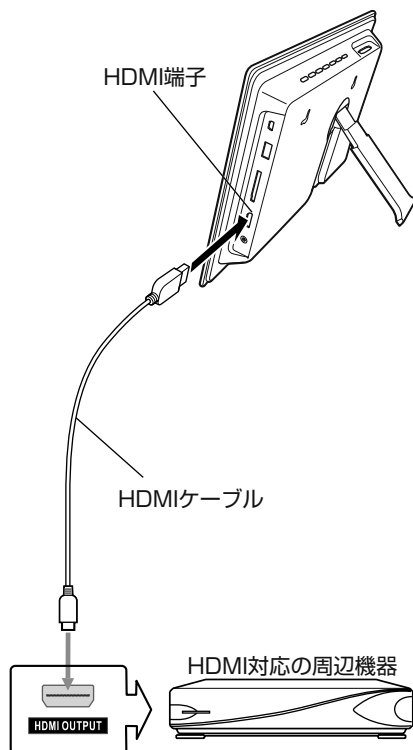
メモ

・パソコンを使って本製品の内蔵メモリーの削除やコピーができます。

HDMI 対応の周辺機器と接続する

付属のHDMIケーブルをHDMI対応の周辺機器に接続して、高品質の画像を楽しむことができます。

HDMI対応の機器と接続する

1 本体の HDMI 端子と HDMI 対応の周辺機器を付属の HDMI ケーブルで接続します。

HDMI対応機器の画像を再生する

1 本製品の電源を入れます。

2 [メニュー] ボタンを押します。
「ソース選択」画面が表示されます。

3 [▲][▼] ボタンを押して「HDMI 入力」を選択して、[決定] ボタンを押します。

メモ

- HDMIポートのあるパソコンに接続すると、モニターとして使用することができます。

故障かなと思ったときは

本製品のご使用中に何らかのトラブルが生じた場合、どのような状態であるのかを確認し、対処方法に従って処理してください。
ここで説明されている以外のトラブルや方法どおりに対処しても解決できないときは、カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

現　象	対処方法
画像が2重に見えている、または画像がゆれている。	入力信号が液晶パネルの画素に合っていないと考えられます。 信号出力側解像度を低くしてください。 それでも正常にならないときは、信号の干渉が考えられます。
製品の電源が入らない。	・本製品の電源は入っていますか。 ・ACアダプターはコンセントに接続されていますか。
画像がスクロールする。不安定である。	・信号ケーブルは、パソコンのディスプレイ出力端子に正しく接続されていますか。 ・パソコンの出力信号は本製品の仕様に合っていますか。パソコンの設定をご確認ください。
ごく少数の欠けている点、光らない点、点灯し続ける点がある。	液晶画面（LCD）は多くの薄膜トランジスタの集合体です。 この中にごく少数の欠けている点、光らない点、点灯しつづける点がある場合があります。 これは液晶画面（LCD）の特性によるもので、故障や欠陥ではありません。
表示される色がおかしい。	ケーブルの接続具合が正常かご確認ください。
残像が発生する。	10時間以上、同じ画像を表示していると、残像が発生する場合があります。これは液晶画面（LCD）の特性であり、故障や欠陥ではありません。発生したときには、他の画像を数時間表示すれば正常に戻ります。
内蔵スピーカから音声が出力されない。	・音量レベルが最小になっていないかご確認ください。 ・パソコン側の音声出力の設定が正しいかご確認ください。
写真が全画面で表示できない	・スライドショー設定を「フルスクリーン」に設定してください。 ・縦横表示指定のある写真では全画面で表示できません。

メモリーカードについて

本製品では、以下の市販のメモリーカードの動作を確認しています。
本書では、SDメモリーカード、メモリースティックを総称して「メモリーカード」と表記しています。

SDメモリーカード

本書では､以下のものをまとめて「SDメモリーカード」と表記しています。

SDメモリーカード	2GBまで
miniSDカード※	2GBまで
microSDカードi※	2GBまで
SDHCメモリーカード	32GBまで
miniSDHCカード※	4GBまで
microSDHCカード※	4GBまで
マルチメディアカード	4GBまで

※本製品で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

メモリースティック

本書では、以下のものをまとめて「メモリースティック」と表記しています。

メモリースティック	128MBまで
メモリースティックDuo※	128MBまで
メモリースティックマイクロ※	1GBまで
メモリースティックPRO	1GBまで
メモリースティックPRO Duo※	16GBまで
メモリースティックPRO-HG Duo※	8GBまで

※本製品で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

チェック

- 対応表の範囲内のすべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 本製品に挿入されたメモリーカードを無理に抜き取ると、本製品やメモリーカードが破損することがあります。
- メモリーカードを抜き取るときに、金属端子部分に手や金属を触れないでください。
- カードアダプターを使用して本機に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本製品に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。
- 画像の表示中にメモリーカードを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

保証書

保証期間：ご購入日より1年間

型番（Model）	型番 LPF10M01
製造番号（Serial No.）	

ご販売店様へ

保証書の所定事項をご記入の上、お客様へお渡しください。

販売店名	お買い上げ年月日 年　月　日
住所	電話番号

お客様へ

保証規定をよくお読みの上、保証書は大切に保管してください。

お客様ご記入欄

はじめにご利用の形態について○をしてください。
個人/法人の区別はご購入の名義によってご判断ください。
個人使用の場合は、会社名、部署名の記入は不要です。

個人　・　法人

フリガナ 会社名	フリガナ 部署名
フリガナ お名前（個人名）もしくは、ご担当者名	e-mail お電話
ご住所　〒□□□－□□□□ 都道府県　市区郡町村	ビル名・マンション名・団地名・棟号室等、詳しくご記入ください。

オンキヨー株式会社

保証規定

●販売店欄に記入のない場合は無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。
●この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
●保証期間中に、故障が発生した場合は、本書をご用意の上、カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

【1】取扱説明書・本体貼付ラベルなどに従った使用状況で故障した場合は保証書の記載内容に基づき、無償にて故障個所の修理をさせていただきます。無償修理をご利用になる場合にはカスタマーサポートセンターに保証書をご提示の上お申し付けください。
【2】製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負わないものと致します。
【3】次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。
①保証書のご提示がない場合
②保証書にお買い上げ年月日、保証期間、型番（Model)、製造番号（Serial No.)、および販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合
③お客様による輸送、移動時の落下、衝撃、圧力など、お客様の取扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合
④お客様による使用上の誤り、分解あるいは不当な改造、修理による故障および損傷
⑤火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、冠水の外部要因に起因する故障および損傷
⑥製品に接続している当社指定以外の機器、および消耗品に起因する故障および損傷
⑦消耗品の交換
⑧コンピュータウィルスによって生じた、故障および損傷
【4】保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
【5】保証書は再発行致しません。大切に保管してください。
【6】保証期間内にご連絡いただけない場合は、有償対応とさせていただきます。
【7】記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスク、RAMなど）に記録されたデータは、故障や障害の原因にかかわらず、保証いたしかねます。ご了承ください。

カスタマーサポートセンターについては、WEBをご覧ください。
http://pc-support.jp.onkyo.com/

サポートサービスについて

カスタマーサポートセンターでは、製品をご購入いただいたお客様からの技術的なご質問や、修理に関するお問い合わせを受け付けています。
お客様のトラブルを早急に解決するために、お問い合わせの際は、本製品をお手元に置き、次のことをご確認ください。

① 本製品の型番、製造番号
② お客様のお名前（会社名、ご担当者）
③ ご連絡先（電話番号、郵便番号、ご住所）
④ 本製品をご購入された販売店名、代理店名、ご購入日
⑤ 梱包箱の有無
⑥ 障害発生日
⑦ 障害発生内容（トラブルが起きたときの状態と状況、また表示されているメッセージの内容）
⑧ 再現手順（障害発生したきっかけの詳細）

カスタマーサポートセンター

電話：**0570-001134**（ナビダイヤル）または **03-6746-0001**

受付時間 9:30 ～ 18:00（月曜～日曜・祝日）※弊社指定休業日を除く

※ナビダイヤルは携帯電話からもご利用できます。（PHS、IP電話からはご利用できません）
※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※東京近郊（23区内）、PHS、IP電話からは、03-6746-0001をご利用ください。
※上記サポート受付時間・サポート料金などは予告無く変更される場合があります。
※2010年3月現在

LPF10M01取扱説明書
2010年5月 初版

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　（　　）
メモ：

オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

P1005-1

DC01-L0122-03A